

接遇研修のご報告

創立以来、愛全会は職員の接遇マナー能力向上に取り組んでおります。元ミスインターナショナル日本代表の金ヶ江悦子先生を講師にお招きし、これまでに延べ600名を超える職員が受講しました。

「外見は中身の一番外側」という認識のもとで身だしなみはもとより、立ち居振る舞いやコミュニケーション力等、接客や対人援助に携わる者として、患者さま



に気持ちよく、安心してご療養いただけるよう研鑽を重ねております。

接遇マナーの基本は「気配り、目配り、こころ配り」の三配りと言われてます。医療や介護を必要とされる方々にとって上質な接遇とさりげない三配りによってこれからの時代に選ばれる病院となるよう、これからも金ヶ江先生のご指導のもと研修を続けてまいります。

愛全会 教育研修部

愛全病院理念

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした

生命を大切に作る心 思いやりを大切に作る心 学ぶことを大切に作る心
をもって地域の安心づくりに努めます。

愛全病院 基本方針

患者さまの権利の尊重

1. 人間愛と責任感に基づく、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意思の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。

地域の安心づくり

4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。

患者さまの満足度の向上

6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、暖かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。



じょうてつバス 「川治12条2丁目」下車

- 地下鉄南北線[真駒内駅]から
硬石山行(南95番)、石山1条丁6目行(南95番)
- JR札幌駅バスターミナルから
定山溪線又は豊平峡温泉行(7番)、藤野4条5丁目行または豊滝行(7番)
硬石山行(南55番)



病院機能評価 認定第MB44-4号
主たる機能: 慢性期病院
評価項目: 3rdG Ver1.1



医療法人愛全会 愛全病院

〒005-0813
札幌市南区川治13条2丁目1番38号
Tel.011-571-5670 Fax.011-572-8005
<https://www.aizenkai.or.jp>



病院長からのご挨拶

充実した医療・
介護の実現にむけて
努力していきたい

看護部長からのご挨拶

関係するすべての方が
“幸せ”を感じられる看護管理

各科便り[栄養科]
地域医療連携室より
新任医師のご紹介
接遇研修のご報告

◆脳神経内科を標榜しました

当院では、令和4年6月1日より「脳神経内科」を標榜いたしました。これからは地域の皆様の医療ニーズに応え、安全・安心な医療を提供してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、脳神経内科の受診をご希望の方は、愛全病院外来(代表011-571-5670)までご連絡ください。

優 You

2022 Summer Vol.15

令和4年夏号
発行元: 医療法人愛全会 愛全病院



病院長からのご挨拶

充実した医療・介護の実現にむけて 努力していきたい

愛全病院 病院長
福田 諭

2022年4月から病院長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願ひ致します。

当院は1969年の開設以来53年の実績と経験を積み重ねて、良い医療・介護・福祉を高齢の皆様を中心に受けて頂けるよう常に邁進致しております。

「医介同源」：北大医学部44期、名取孝先生のこの言葉に共感を覚え、医療と介護のシームレスな一体提供を、病院を中核としてグループ全体で強化していきたいと考えております。

目標を出来る限り明快に提示し、それを実施していきたいと思っております。

まずは、「①充実した医療・介護の実現」「②入院受け入れシステムの強化」「③グループ内連携の強化」「④より優しく親切的な愛全病院に」を目標に、半歩・一歩でも前に進めればと思っております。

患者さまご本人はもとより、いつもご紹介頂いている病院・施設あるいはご家族のご要望に出来る限り答えていき

たいと思っております。

当院は2021年8月にはSDGs宣言を公表、11月に電子カルテ導入、4月から入院受け入れシステムの一元化によるスムーズな対応強化を施行、6月からは脳神経内科の標榜も開始致しました。

一方で、私は2010年から3年間北大病院病院長を務めさせて頂きました。急性期、慢性期の違いはあるにしても、その時に得た経験も今後の運営に生かしていきたいと思っております。

人生100年時代と言われる現在、この地域を中心に札幌市全域の高齢の皆様やご家族の安心作りに向け一歩一歩着実に、出来ることを淡々と頑張って努力していく所存です。

是非柔軟でバランスのとれた運営を心がけていきたいと思っておりますので、引き続き愛全病院ならびに関連施設への温かいご支援を賜りますようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



看護部長からのご挨拶

関係するすべての方が “幸せ”を感じられる看護管理

愛全病院 看護部長
仁木 恵美子

4月1日に看護部長に就任いたしました。少子高齢社会の中、人々が最期まで自分らしく生き、ご本人もそのご家族も幸せを感じることが出来る仕事に携わりたい。愛全病院でなら、今までの経験を活かし、実現できるのではないかと考え入職させて頂きました。

また、愛全病院 看護部理念である「私たちは、患者さんの歩んできた人生を尊重し、専門職としての知識・技術・態度をもって心に寄り添う看護を提供します。」にとても共感しております。

入院・入所されるほとんどのの方が、高齢や障害のある方々です。おひとりお一人のこれまで歩まれてきた人生を共有させて頂き、これからの人生をその方らしく生き抜くためのご支援

をご家族の方々と共に行うようにしたいと考えております。

患者さん利用者さんとそのご家族、そして勤務する職員ひとり一人が大切な存在です。すべての方が“幸せ”を感じられる看護部を目指したいと思っております。

その実現に向かい、かかわるすべての方に対し、思いやり(気のつくこと・相手の立場や気持ちを理解しようとする心)を大切に、誇りを持って職務を遂行して欲しいとねがい、4月に部長方針を提示し、看護・介護を実践してもらっています。

グループ内の施設及び連携医療機関の皆様と、より一層連携を強化させて頂きたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。

各科便り [栄養科]



患者様の心に響く「食」と チームで取り組む「栄養管理」の実践

栄養科では愛全病院の理念に基づき、患者さまお一人おひとりの想いに寄り添い、病態や摂食嚥下機能に合わせたお食事の提供を行っております。入院中、医師の指示のもと、管理栄養士が栄養状態を把握し、ベッドサイドに訪問しアレルギーや嗜好等の聞き取りを実施し栄養管理を行い、低栄養の患者さまにはNST(栄養サポートチーム)が介入し、多職種で最良の栄養療法を提供できる体制をとっております。また、外来栄養指導や在宅



訪問栄養指導などを通して、地域への栄養情報提供も行っております。

当院のお食事は行事食や摂食嚥下機能に配慮した食事形態での提供を行い、療養生活においても季節を感じ、楽しみの持てるお食事の提供に努めてまいります。

地域医療連携室より

愛全病院の特徴と取り組み

地域医療連携室では総勢15名の相談員が、患者さまの入院調整や入院中のご相談の他、心身の状況に応じた在宅・高齢者施設等への退院支援を行い、シームレスな医療・介護・福祉の連携に努めております。

当院は多様なリハビリテーション機能(セラピスト総勢140名)や慢性期病院機能(人工呼吸器管理、ASV、BIPAP受入可)を有しております。

また、無料送迎サービス(要件あり)や身寄りのない方の支援など、今後のサービスの質向上を目指します。



新任医師のご紹介

愛全病院医師



愛全病院 診療部
仙石 和文 医師

令和4年4月1日付で愛全病院診療部に常勤医師として仙石 和文医師が着任しました。

また、北海道大学病院から派遣医師として北原 圭太医師(整形外科)と堀之内 徹医師(精神科神経科)を迎えました。令和4年6月現在で総勢26名の医師(非常勤医師を含む)が在籍し、診療体制が一層充実されました。

当院の理念でもあります地域の皆様への安心づくりに貢献するため、連携医療機関様や連携介護施設様との絆をより深めさせていただきながら、患者様により質の高い医療を提供するため一層の努力をしております。

派遣医師(非常勤)



北海道大学病院
整形外科
北原 圭太 医師



北海道大学病院
精神科神経科
堀之内 徹 医師